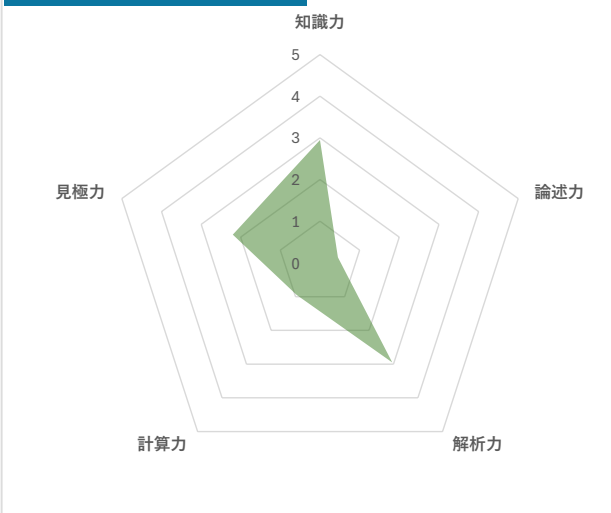


総合分析

試験区分	一般		
制限時間	60分 (理科 2科120分)	大問数	全 4 問

合格に要する能力 (5段階)

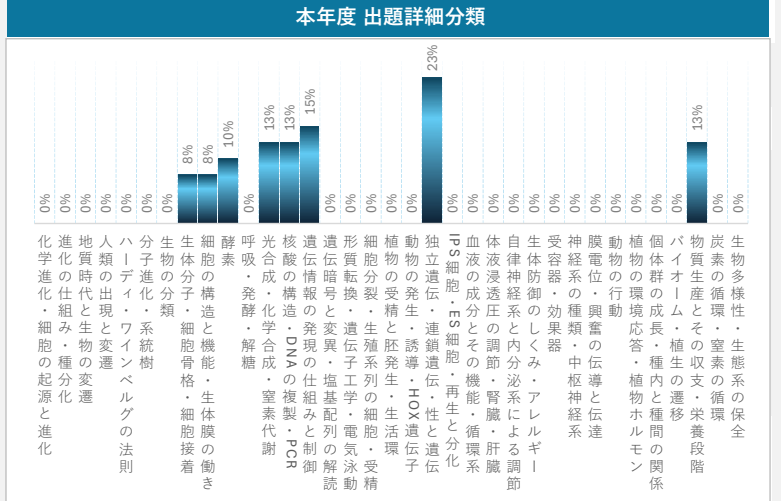


合格に要する能力 (5段階)		
知識力	2.8	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.3	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	2.8	図表データなどから分析・解析する力
計算力	0.8	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	2.0	難度を判断し、適切に時間配分する力

出題分野	
系統と進化	0%
生命現象と物質	38%
遺伝子	28%
生殖と発生	23%
生物の環境応答	0%
生態	13%

本年度 解答形式	
穴埋め記述	100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	細胞とその構成成分
第 2 問	遺伝子の発現調節, オペロン説
第 3 問	X染色体の不活性化, 三毛猫の体色
第 4 問	植物の光合成, 光合成曲線



特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	1.8	最難を 5 とする問題自体の難度	やや易しい	一次合格に必要な正答率 (予想)	84%
分量	55分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	標準	極めて高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 定石的・定型的な問題が多い。</li> <li>▶ 問題文が簡潔で、読解をほとんど必要としない。</li> </ul>
----------	--

入試から見る大学が求める学生像	全体的に平易な問題であり、合格のためにはかなり高い得点率が必要となる。一つのミスが合否を分ける原因となってしまう可能性があるため、標準的な問題を着実に解答できる安定感と漏れなく見直しを行う細心さが求められる。
-----------------	--